

2019 年度入学式 式辞

学長 待田昌二

学長の待田昌二です。皆さん入学おめでとうございます。神戸松蔭女子学院大学の教職員を代表して、心よりお祝い申し上げます。ご列席いただいたご家族、関係者の皆様にも感謝申し上げます。

すでにお分かりのように、入学式はキリスト教の礼拝形式で行っています。本学の歴史は、今から 127 年前の明治時代中頃に、イギリス人宣教師がキリスト教伝道を目的として設立した松蔭女学校にさかのぼります。今も我々は入学式や卒業式といった行事を礼拝形式で行っています。また、キリスト教について学ぶ授業もあります。当然ですが、キリスト教の信仰を強制するものではありません。キリスト教の形式に慣れない人は、外国の文化を体験するような、新鮮な気持ちで好奇心を持って経験してもらえればと思います。これからしばらくの間、神戸松蔭という文化の中で過ごすことになったわけですから、入学式だけでなく、クリスマス行事をはじめとする学内行事や礼拝を体験してみてください。

先ほど、本学は 127 年前の松蔭女学校から出発したと言いましたが、その歴史の中で中学・高等学校になり、次いで短大や四年制大学も創設しました。現在は学校法人松蔭女子学院が松蔭中学・高等学校と本学を運営するという形になっています。

その松蔭女子学院のモットーを紹介したいと思います。それは、「一粒のからし種」です。からしの種が一粒ということです。なぜ、からし、なぜ、一粒の種、と思った人も多いでしょう。聖書にあるイエス・キリストの言葉に由来しています。

「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る」

すなわち、小さな種でも姿かたちを変えながら成長し、やがて鳥が枝に巣を作るほどの木になるという意味です。日本のからしは木というより草で、鳥が巣を作るほどの大きさには成長しません。イエス・キリストの時代は二千年ほど前ですし、場所は中東地域ですから、別の種類の植物を指していると思われます。いずれにしても、一粒のからし種という言葉は、大きく成長する可能性を持つ小さな種を表しています。

大学モットーは、その小さな種が大きく成長すること期待して” Open Yourself, Open Your Future”としています。Open Yourself は、自分を解放すること、Open Your Future は自分の未来を開くことです。すなわち、学生の皆さんが、無意識のうちに自分を閉じ込めてきた殻を破って自分を解放し、心を開いて成長し、卒業後の未来を切り拓いていくことを期待するとともに、私たち教職員が皆さんの成長の手助けをすることを示しています。

しかしながら皆さんは、これまでの学校生活で既に、さんざん成長しろ、成長しろと言われて、うんざりしているかもしれません。もう身長伸びも止まったから横に成長するしかないわ、と言いたい人もいるでしょう。もちろん大学では、とにかく頑張っただけで成長してください、というのではなく、具体的な方法を色々示します。早速今日、その方法の一つをお伝えしたいと思います。

まず、質問です。皆さんは、トイレに世界地図を貼っていますか。もし貼っていなければ貼るようにしてください。いやまあ、トイレという場所まで指定するのはおせっかいな話で、単に私がそうしているというだけです。最近皆さんは紙の地図を見ることがあるでしょうか。地図を広げて見ることは少なくなっているのではないのでしょうか。

今はインターネットで様々な地図が公開されています。中でも、地図から航空写真・衛星写真に切り替えられるグーグルマップをインターネットで初めて見たときは、拡大して一軒一軒の家の屋根までみることができると驚愕しました。その後ストリートビューが開発され、単に上から眺めるだけでなく、地上に降り立ち街並みを見ることができるようになりました。この時も信じられない気持ちでした。

そんなものが作られ自由に見ることができるわけですから、紙の地図を見なくなるのも当然です。しかも、スマホ画面上に自分のいる場所が示され、目的地を入力すれば経路まで表示されるという、ナビゲーション・システム、すなわちナビまであります。

なぜそんなことが可能なのでしょうか。私たちのスマホは、街中至る所にある携帯電話基地局や Wi-Fi アクセスポイントと常時やり取りしていますので、どの基地局の近くにいるのかがわかります。さらに、聞いたことがあるでしょうが、人工衛星からの電波を利用しています。地球上空には何十機という位置測定用衛星が打ち上げられており、それぞれが一定の軌道で周回して常に電波を発しています。スマホは複数の衛星から電波を受け取っており、それらの電波のずれを分析して現在地が割り出されています。

私たちのスマホは、これらの情報を、Apple やグーグルなどのコンピューター・システムに送ります。コンピューターがスマホの現在位置を正確に割り出し、目的地とともに地図に重ね合わせ、最短経路まで計算してスマホに送り返してくれるおかげで、スマホ画面に目的地までの経路が表示されます。とても便利です。その利便性が、宇宙空間まで利用したいへんなシステムによって実現されていることに、今更ながら驚きます。

さらに、スマホには磁気センサーすなわちコンパスが内蔵されていますので、スマホを向けた方角が地図アプリに表示されます。示された経路の方向にスマホを向けて、方向が一致するように歩き続ければ目的地に到着します。今現在自分がどこにいるのか知らなくても、極端に言えば周りの景色を見なくてもたどり着けます。

さて、皆さんが大学で成長するための具体的な方法の一つを教える言いました。それは、ナビに頼らず歩いてみよう、です。ナビがこれだけすごい物だからこそ。

紙の地図を渡されて歩いて目的地まで行くということになったら、とても戸惑うのではないのでしょうか。自分が今どこにいるのか探すことから始めることになります。しかし、今自分がどこにいるのかを把握することが大事です。普段から、大まかな地図を頭に入れて、周囲の景色を見ながら自分が地図上のどこにいるのか気にするようにしておけば、徐々に感覚が身につきます。そして、目的地がどこにあるかを地図上で確認し、その方角に向かわなければなりません。方角は、太陽の位置や地形などが手掛かりになります。神戸の市街地であれば、概ね山が北にあり、海が南ですからわかりやすく初心者向けです。スマホのナビだけに頼らず周囲を見ながら歩けば、思いがけない街並みや景色を見ることもあるかもしれません。

地図は世界がどうなっているのかを教えてください。その世界の中で自分がどこにいるのかを知ることはすべての出発点です。周囲の景色と地図を照らし合わせて、現在地を知り、方角を知る力、目的地まで歩いて進む力を身につけてください。いったんこういった力をつければ、スマホの地図機能やナビ機能をもっと使いこなせます。ナビの通りに歩いているだけではナビに使われているだけです。しかし、自分の力を付けた上であれば、自分の能力をさらに高めてくれるものと感じ、ナビを使いこなしていると実感することができます。

紙の地図を見るようにしよう、スマホのナビに頼らず歩いてみようというのは、もちろん喩えです。これから皆さんは、大学で新しい学びを始め、それぞれの目的地に歩い

ていきます。目的地をはっきり決めているけれど、行き方がわからないという人には私たちは地図を渡します。聞かれれば、大まかな道順も教えます。目的地を全く決めていないという人もいるでしょう。大学卒業後の目的地をいくつか示しますので、とりあえず歩き始めてください。

途中で目的地が変わっても構いません。大学卒業時の目的地は、皆さんの長い人生の中の中継地点にすぎないからです。大事なことは、周りを見て自分の位置と方角を確認する力を養うことです。とりあえずの目的地にたどり着くまで歩くことによって足腰を鍛えることです。そうすれば、次の目的地を自分で決めてまた歩き出すことができます。回り道をすることや坂道を上ることもあるかもしれませんが、その方がむしろ足腰は鍛えられます。

もしもあなたが、自分には歩き出す力が無い、どうせ目的地にたどり着かないと思って歩き出さないなら、それは思い込みという殻に閉じこもっています。**Open yourself**、殻を破ってください。そしてこれからの大学生活で、**Open your future**、自分の未来を自分で切り拓く力を養ってください。